

2007年度 第5回

地質学セミナー

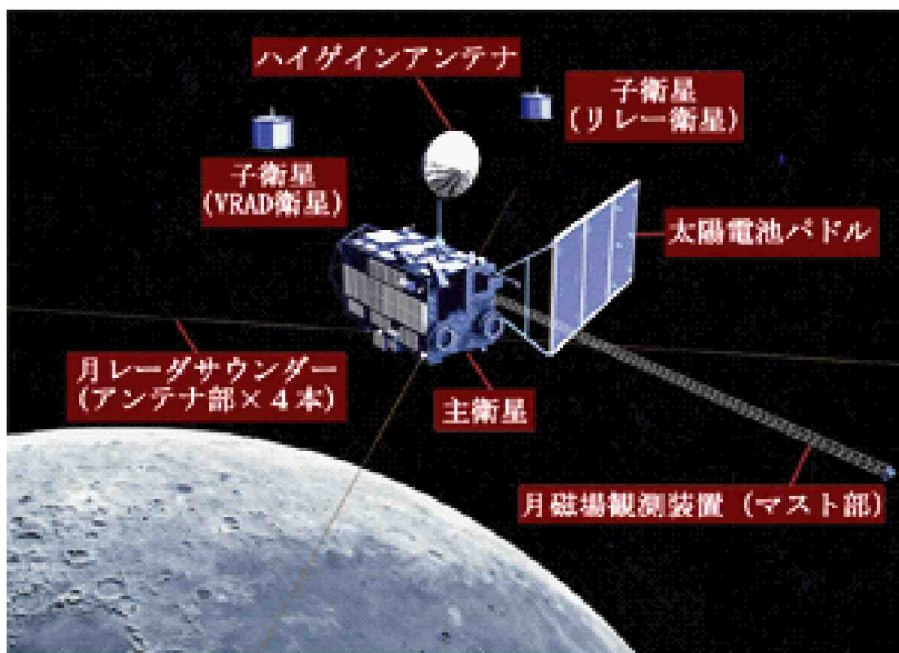
日時: 5月30日(水) 17時より
場所: 総合研究棟B棟 110 教室
※場所を変更いたしましたので、
お間違えのないようよろしくお願いいたします。

宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部
固体惑星科学研究系

大竹 真紀子

月周回衛星 SELENE は、今年夏に打ち上げ予定の宇宙航空研究開発機構 (JAXA) が開発を進めている月探査機である。SELENE の目的は、月の起源と進化を解明するための科学データおよび将来の月利用に向けたデータを取得することである。SELENE は高度約 100km の極・円軌道を周回する主衛星と、より高い楕円軌道を周回する 2 機の子衛星 (リレー衛星・VRAD 衛星) から構成されており、全部で 14 種類の観測機器を搭載してアポロ計画以来最大規模の本格的な月の探査を行う。発表では SELENE 計画の概要と共に、搭載される各観測機器からどのようなデータが得られ、これらデータから月の起源と進化に対してどのような成果が期待されるのか、月面撮像/分光機器 (LISM) (LISM とは地形カメラ、マルチバンドイメージャ、スペクトルプロファイラの 3 つの観測機器の総称であり、LISM により月表層の地形、岩石分布、鉱物組成に関する情報が得られる) の研究計画を中心に紹介する。

(座長: 道口 陽子)



月周回衛星 SELENE の構成

月周回衛星SELENEにより

期待されるサイエンス成果